

# ヨーロッパ街道と氷河の村をあるく 10日間

世界一長い吊り橋 チャールス・クオーネンを渡る

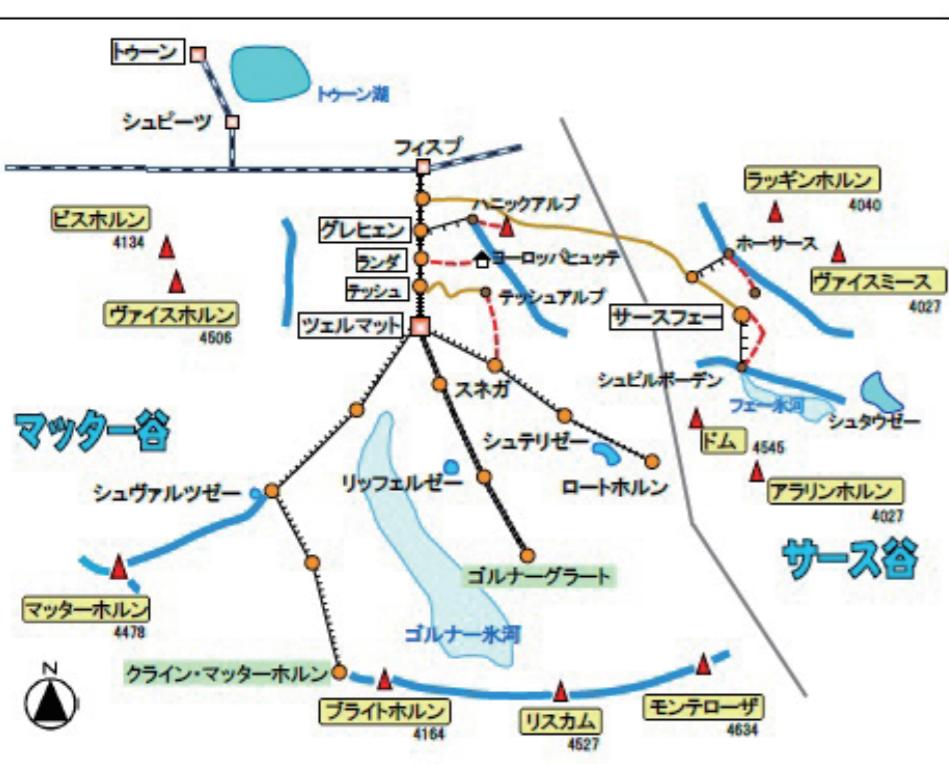


- ◇マッターホルンの静かな村・グレヒエン3連泊 シュタインボック(アイベックス)の住むハニックアルプ展望台へ
- ◇テッシュアルプからオートルートの最後の道・ヨーロッパ街道をあるきツェルマットへ マッターホルンに向かってあるく
- ◇サース谷の“氷河の村” サースフェー3連泊 ホーサース展望台から花のプロムナードをあるく

旅行期間	旅行代金
7/2(木)	¥458,000
7/21(火)	¥478,000

- 定員／12名 定員（最低実施人員6名） ■ 締め切り／各出発日の1か月前
- 出発空港／成田空港・関西空港 ■ 1人部屋追加料金／¥58,000
- 健脚度／ 1日5時間以下のハイキング。標高差500mの登り900mの下り程度
- 添乗員／初日のチューリッヒ空港から帰国日のチューリッヒ空港まで同行

※燃油付加運賃28,400円、現地空港税6,130円、空港施設使用料・保安料2,660円（成田）、3,100円（関空）国際観光旅客税1,000円が必要です。（変動あり）



## グレヒエン(1619m)

ツェルマットまで続くマッターホルンの入口にあるザンクト・ニクラウスの上に位置する山村。晴天率が高く、澄み切った山の空気が健康に良いリゾートとして知られています。子供から年輩の方までゆったりと滞在できるので、家族連れの姿をよく見かける。観光地として早くから開発された場所ではないので、花が飾られた木造シャレーや魔よけの木彫り像など、素朴な山の伝統が受け継がれてる。ケーブルで約10分のぼったところにあるハンニックアルプは、ベルナーハルブスとヴァーレアルブスの両方を堪能できる絶景ポイント。

日次	都 市	時刻	概 要	食事
7月2日 (木)	成 田・関 空 発 ヨーロッパ1都市着	午 前	空路  ヨーロッパ1都市を経由してチューリッヒへ【時差：7時間／所要時間：約15時間】	機 機 ×
7月21日 (火)	ヨーロッパ1都市発 チューリッヒ着	夕 刻 夜	列車でチューリッヒ中央駅へ ホテル着	チューリッヒ泊
7月3日 (金)	チ ュ ー リ ッ ヒ	午 前	午前、チューリッヒ市内自由見学（バーンホフ通り、リンテンホフの丘、チューリッヒ湖など）	B ×
7月22日 (水)	サンクト・ニクラウス グ レ ヒ エ ネ 着	午 後	列車とバスでマッター谷の山村、グレヒエンへ（約1時間40分） 到着後、自由見学	D グレヒエン泊
7月4日 (土)	グ レ ヒ エ ネ	午 前	ロープウェイでハニックアルプ展望台(2124m)へ <b>ハイキング</b> 【↑↓331m／2時間30分】 展望台からヴァニホルン山頂へ向かいフルッグ(2453m)までの登山	B ×
7月23日 (木)		午 後	グレヒエンの町を眼下にマッター谷を一望 シュタインボックが住んでる山域です 午後、自由見学	D グレヒエン泊
7月5日 (金)	グ レ ヒ エ ネ ラ ン ダ	午 前	バスと列車でランダへ <b>ハイキング</b> 【↑↓670m／4時間】 チャールス・クオーネン吊り橋を渡るトレッキング	B ×
7月24日 (土)	グ レ ヒ エ ネ	午 後	ヴァイスホルン(4505m)ビスホルン(4134m) メッテルホルン(3406m)の眺望 バスと列車でグレヒエンへ	D グレヒエン泊
7月6日 (月)	グ レ ヒ エ ネ テ ッ シ ュ	午 前	列車でテッショヘ タクシーでテッショアルプへ <b>ハイキング</b> 【↑↓490m／3時間30分】 ヨーロッパ街道をあるきツェルマット・スネガまでのトレイル	B ×
7月25日 (火)	ツ ェ ル マ ッ ツ 着	午 後	マッターホルン(4478m)を目指しながら高山植物の散策 スネガからメトロでツェルマットにぐだる ホテルへ	D ツェルマット泊
7月7日 (水)	ツ ェ ル マ ッ ツ	午 前	<b>午前、ツェルマット自由見学</b> ＊ご希望の方はシュワルツゼー展望台またはゴルナーグラート展望台へご案内（別途費用）	B ×
7月26日 (木)	サ ー ス フ ェ ー 着	午 後	列車とバスでサース谷・サースフェーへ	D サースフェー泊
7月8日 (金)	サ ー ス フ ェ ー サ ー ス グ ル ン ト	午 前	サースグルントからロープウェイでホーサース展望台(3098m)へ <b>ハイキング</b> 【↑↓491m／3時間15分】 1駅下り、クロイツボーテン(2400m)から花のプロムナードをあるく	B ×
7月27日 (土)	サ ー ス フ ェ ー	午 後	ヴァイスミース(4017m)、ラッギンホルン(4010m)を眺めながら稜線あるき、花の名前の書いたプレートのある高山植物観察路へ 午後、自由見学	D サースフェー泊
7月9日 (日)	サ ー ス フ ェ ー	午 前	<b>ハイキング</b> 【↓650m／2時間30分】 ロープウェイでシュビルボーテン展望台(2450m)に上り、町まで下る アラリンホルン(4027m)、テッショホルン(4491m)、ドム(4545m)の眺望	B ×
7月28日 (火)			餌付けされたマーモットが餌をねだってきます 午後、自由見学 *ご希望の方はミッテルアラリン展望台へご案内（別途料金）	D サースフェー泊
7月10日 (水)	サ ー ス フ ェ ー 発 チ ュ ー リ ッ ヒ 発 ヨーロッパ1都市着	朝 午 前	列車でチューリッヒ空港へ（3時間20分） 空路  ヨーロッパ1都市を経由して帰国の途へ【時差：7時間／所要時間：約14時間30分】	サ 機 中 泊
7月29日 (木)	ヨーロッパ1都市発			
7月30日 (金)	成 田・関 空 着	朝	お疲れ様でした！	機

## ツェルマット(1606m)

スイス最高峰マッターホルンの麓にあり世界中からトレッカーやスキーヤーが集まる。町自体は小さく、1時間程度で十分あるいて楽しめる。街中には登山用品を売る店やスーパーマーケットお土産屋、教会などがひしめき合っている。



## サースフェー(1800m)

ローヌ谷からのびるフィスバ谷に続くサース谷の中心地。スイス国内最高峰ドムを含む4000m級の山々と雄大な氷河を抱く美しい村は“アルプスの真珠”とも呼ばれている。周囲をぐるりと氷河に取り囲まれ、氷河から溶け出したフェー川は河岸をえぐり、村の中心で峡谷をついている。野生動物が多いのも特徴で、マーモット、アルプスカモシカ、早朝や夕暮れにはシュタインボックも村の目の前までやってくる。また、シュビルボーテンには餌付けされたマーモットがいて人に慣れているので近くで写真が撮れる。町にはケーブルカー、リフトが多数あり、高山植物やアルプスの動物など観察しながらのハイキングができる。ツェルマットと同様、ガソリン車禁止。

